



山藍

平成25年12月10日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

埼玉県立豊岡高等学校
同窓会 会報編集委員会

会員の皆様には、記録的猛暑を乗り切られ、元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。

豊岡高校も本年度から、大学進学重視の単位制高校に生れ変わり、第一歩を踏み出しました。生徒の進学希望を叶えるために、特に必要な教科・科目を選択し、少人数授業で学力向上を図る取り組みが、その夢の実現に大きく寄与することを願っています。

生徒の進学希望を叶えるために特に必要な教科・科目を選択し、

今年度後半の
大きな政治的、
社会的関心は、
消費増税と二〇

時代は変わるか

同窓會長
木下
博

福されました。

ラリンピック東京開催決定の大ニュースに集中しているようです。消費税八パーセントへの税率改正は、既に来年四月実施で決定していますが、実施の条件として、増税が景気の腰折れを招かぬよう、景気の状況と有識者等の意見を参考として、総理がその是非を判断するとされており、為政者としての責任は重大です。

税は安くサービスは手厚くと

に知恵を絞り出すことが肝要だと思います。いずれにせよ国際公約でもある消費増税は、日本の国内問題で済むテーマではありません。TPP問題も含め、一歩間違えれば財政破綻をも招きかねない難しい局面だけに、総理の苦渋の決断が注目されます。これらにも関連する五輪・パラリンピックの東京開催決定は、日本をはじめ世界の人々から祝福されました。



未来を拓く学びの場をめざして

校長顧問恭裕

日頃から同窓会の皆様には、本校の教育活動に対しご理解ご支援を賜り、まことにありがとうございます。改めて心より御礼申し上げます。

二十一世紀になり、はやくも十二年が過ぎました。時の流れは進み、豊岡高校も平成二十五年度入学生から全日制普通科の進学重視型単位制高校に移行しました。

本校は、大正九年に組合立の農学校として開設され、以来九十三年の歴史と伝統を有すと共に、この間、「地域社会を支える人材の育成」を使命とし、時代の要請に応え、実業高校、県立移管、そ

して普通科の高校へと姿を変えた進取の精神を兼ね備えた学校であります。

本年度開設の新しい豊岡高校が目ざすものは、「生徒一人一人の大学進学希望に応じた丁寧な指導を行い、学力を向上させ地域社会や国際社会に貢献できる豊かな人間性を育む」とするものです。

一言で言えば、本校は、二十一世紀に生きる人材育成を目指す学校です。

今後、知識基盤社会化、グローバル化がますます進展することが予想されます

が、そうした中で、確かな学力を身に付けた「志を持って課題解決に取り組む」「地域社会や国

際社会に貢献できる」生徒を育成してまいります。

文部科学省は、「第二期教育振興基本計画」の審議の中で、今後の社会の在り方の方向性について、「自立、協働、創造」の

三つの理念が重要であるとし、今後の教育行政の方向性について、次の四つに整理しています。

(一) 社会を生き抜く力の養成、教育の質の向上やその保証)

(二) 未来への飛躍を実現する人材の育成、グローバル化に対応する人材、イノベーションをもたらす人材、社会的課題に対する人材の養成、

(三) 学びのセーフティ

ネットの構築、多様な学習機会の確保、安心安全な教育環境の整備、

(四) 絆づくりと活力あるコミュニティの形成、社会全体の教育力の向上など

本校では、これまで新校への移行に向けて準備を進めてまいりましたが、その方向性はまさにこれと合致するものと言えます。

○学力向上に向けての朝テスト、進学講習、学習ガイドブック作成、多様な選択科目設置、少人数授業、教員の授業改善の取組み。

○英語力を強化するため文部科学省「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」事

場等校舎の大規模改修。

○高大連携として大学教授による出張講義、地域の小中学校等との交流として豊岡小学校との交流、入間市内中学校での本校教員による出前授業、中学生の上級学校訪問・体験授業の受入れ、日高特別支援学校との交流。

また(四)の「絆づくり」では、豊高の精神を二万三千余名の同窓生の皆さん方をはじめ、豊高を支える多くの方々と共有し、様々な形でこれから豊高づくりにご参加いただき力を合わせていくことが大事であると考えます。

教職員一同、歴史と伝統ある豊岡高校の更なる発展を期して一層の教育活動の充実を図つてまいりますので、同窓会の皆様のご支援ご協力を引き続きお願い申し上げます。

平成25年3月卒業生進路先（過年度卒業生を含む）

四年制大学	短期大学	専門学校	就職・公務員
213	31	81	9

～主な進路先～

【四年制大学】

青山学院大学、中央大学、法政大学、東京理科大学、学習院大学、日本大学、専修大学、成蹊大学、東京経済大学、東海大学、武蔵大学、東洋大学、女子栄養大学、実践女子大学、亜細亜大学、拓殖大学、芝浦工業大学、東京農業大学、二松学舎大学、東京工科大学、帝京大学、…他

【短期大学】【専門学校】

青山学院大学女子短期大学部、上智大学短期大学部、埼玉医科大学短期大学、亜細亜大学短期大学部…他 埼玉県医科大学付属総合医療センター、東京都立北多摩看護専門学校、トヨタ東京自動車大学校…他

【就職・公務員】

埼玉県警察、セコム、丸紅テレコム、豊岡第一病院、原田病院…他



長い歴史を持つ豊高野球部、埼玉県内の大会において現在も破られることなく記録に名を刻んでいるものがあります。昭和十一年（豊実時代）夏の大会で県営大宮球場において松山中学を相手に72得点（七回コールド）を挙げています。現在五回コールド制になっていますので今後破られることはないとしよう（なお、全国記録は122得点です）。また、平成十五年の秋季地区大会では毛呂山高校を相手に一試合チーム最多本塁打六本を記録しています。しかも六本ともランニングホームランという珍しい記録です。この試合で三本のホームランを打った選手がいますが、これは個人一試合最多本塁打記録となつています。

さて近況ですが、平成二十一年春季大会において県ベスト16になつて以降、特筆できる結果を残すことができていません。決して実力がないというわけではありません。現在三年生九名、二年生七名、一年生（顧問 橋本 克洋）

部活動訪問（第4回）

硬式野球部

最後となりましたが、公式戦のたびにお忙しい中応援に駆け付けてくださる卒業生の皆さんにこの場を借りまして御礼申上げます。これからも部員・スタッフ一丸となり、努力してまいりますので今後とも応援よろしくお願いいたします。

生十一名の計二十七名で活動しています。少ない人数ですが充実した練習をしている。人数が少ないので一人あたりの練習量は豊富で他のどこの高校にも負けないと自負しています。



の伝統を引き継ぎ、質実剛健の校風であった。その一つに、服装検査を挙げることができる。男子は白のワイシャツに学生服と学帽を着用しなければならず、これを遵守するため、教職員立会いの下、風紀委員がチェック学目的のためか、当時はまだクラスの三分の二が男子であった。先生も生徒も大学進学に手さぐり状態の当時のこと。ガリ勉組はほとんど見られず、就職組も混在した編成であった。担任は畠中先生といい、教科は大半の生徒が苦手としていた数学であった。私は、二・三年次を通して、H R長をまとめ役として、他方で

二・三年次の普通科五組は、学年唯一の進学クラスであった。一応、進学目的のためか、当時はまだクラスの三分の二が男子であった。先生も生徒も大学進学に手さぐり状態の当時のこと。ガリ勉組はほとんど見られず、就職組も混在した編成であった。担任は畠中先生といい、教科は大半の生徒が苦手としていた数学であつた。私は、二・三年次を通して、H R長を

庄 菊博

普通科五組進学クラス



風紀委員会（昭和39年頃）

しかし、そこは相互の信頼関係のなせる業か？正門の前で詰襟のホック

を留め、バイタリス、M Gファイブ、時には丹頂チックでガチンと整えた頭に学帽を乗せれば検問を通過できた。また、早弁（はやべん）も罰せられたが、その是非をめぐつて担任や高校側と大論争したことでもあった。

個性の強い、小生意気な生徒、しかし、時には、一致団結して立ち向かう生徒の集まり、それが私ども、五組であった。



舟木一夫の「学園広場」
「高校三年生」の世界が在った豊高時代。まさに、青春ど真ん中だった。

（昭42高卒）

すべては「基礎体力強化」という大義名分のものと、校舎屋上での練習、マラソン、ラグビー等々、運動部と遜色ない練習が続き、連帶責任という長時間の「正座」による制裁が日常茶飯事でした。

一番の思い出は、立教高校との延長十八回勝利という「伝説の試合」に、応援団長として臨んだことをしようか。

思い出がタップリ凝縮されている三年間・・・私はとつては青春そのものだつたと回想します。特に「応援団」に所属した三年間は私の人生を変えたと言つても過言ではないと思つています。ケガにより野球に夢破れても、なお野球に関わっていたい、その一心で自ら団室を訪ねた日のことを鮮明に記憶しています。

卒業後は、縁あつて入間市役所に奉職させていただいておりますが、学業を疎かにした結果として相当恥ずかしく悔しい思いをしてきました。

その度に胸に刻まれた「校訓」を思い出し自分なりに頑張ってきたつもりです。「誠実を旨とし、勤労を愛好する。規律を重んじ、礼儀を正しくする」。



応援団旗

合分休憩なしの大応援・・・六畳旗の応援団旗を一度も降ろすことのなかつた旗手も根性物語だつたと思います。

独学で「社会福祉士」という国家資格を取得し、福祉事務所の最前線で悪戦苦闘している今日この頃です。

いつの日か「出藍の誉れ」となれるよう精進したいと気を引き締め直しました寄稿でした。

(昭52高卒)

豊岡高校野球部の思い出

高山 清志

豊岡高校の野球部として過ごした三年間。

、完全に野球バカだった。

「野球をやっているやつ

に、悪いやつはいない」と

いう祖父の言葉で入部を

決意。その野球部を私は

三度辞めた。そして、三

度復帰して、結局最後の

夏の大会には出場してい

た。

練習を真面目にやれば

甲子園に行けると思つていた。だから、練習を一生懸命やらない仲間に嫌気がさし、辞めてみたり、まだやれると復帰してみたり。今思えば子供染みているが、そこまでめり込んでいたのだ。

三十五歳になつた今でも、野球部の同窓生と

は飲み会やゴルフコンペを開い

たり、ごく稀ではあるが、公園でキヤッチボーリをしたりする。

会えば野球の話。とにかく毎回同じネタで笑う。腹を抱えて笑う。涙が出るほど笑うのだ。すでに一生の友達であることは確定していると思う。今ではそんな仲間たちと出会えたことに感謝している。



平成9年夏

当時のことを思い起こすと恥ずかしいことばかりだが、せつかくなので印象に残っていることをあげてみたい。

・ホームルーム発表会でかなりつまらない劇をやった。

・殴り合いの喧嘩をしたことがあるが、繰出したのは猫パンチ。

・子猫を拾い部室で育てた。

・授業はほとんど寝ていた。

・非常階段にいることが多かつた。

高校時代にまさか入間市で仕事するなんて夢にも思わなかつたが、脱サラし、オープンからもう七年が経とうとしている。

お客様の中には歴代の豊岡高校出身者も多い。先輩方はやはり店をひいてください、本当にありがたい。

・文化祭で弾き語りライブを披露。世界を感動の渦に。

・つき合っていた彼女の笑顔。

・学食のコロッケは日課。

・自動販売機に「おーい

お茶」が初めて導入。絶対に買わなかつた。

大した思い出もないが、高校時代なんてそんなところだろう。

最後になりますが、豊

しかし、なんとなく青春は味わえた気がする。

現在私は、豊岡高校の近くにある、ジョンソンタウンという米軍ハウスが六十軒も建ち並ぶ街の一角で飲食店を営んでいます。

タウンといふ街の一角で飲食店を営んでいます。

(平9高卒)

部活に捧げた高校三年間

平田 茗子

豊高を卒業してからもう四年が経とうとしている。

私の高校時代の思い出と言えば、半分以上が吹奏楽団での出来事だと言つても過言ではない。夏は猛烈に暑く、冬は底冷え、大雨が降ると水没するけれど、いつも笑いが絶えない・・・そんな団

室で仲間たちと共に励み、

ちしております。

特別なサービスはございませんので、あしからず！

最後になりますが、豊岡高校のご発展と、豊岡高校同窓生の皆様のご健康とご活躍、ご多幸をお祈り申し上げます。



部活に捧げた高校三年間

時には言い争いながら過ごした日々は私の青春である。特に団長として奔走した最後の一年は思い出深い。たくさんの先輩や先生方に支えられながら、コンクールの舞台で金賞の賞状を受け取ったあの日の感動は一生忘れないだろう。

二十二歳になつた今、

私は養護教諭を目指して

いる。教育実習もこの豊岡高校でやらせて頂いた。

その時にふと見た、クラスに置いてあつた文化祭

グランプリのトロフィー。

そこには自分が三年生の

時のクラスの名前も刻ま

れていた。生徒から文化祭の様子を聞きながら、

一生懸命だったあの頃を懐かしく思つた。ビール

ケースを借りたり、段ボールを集めたり・・・私

たちがいた頃と学校の雰囲気は大きく変わつたが、

ます。

それでもその中にあの時と同じ時間が流れていることがなんだかうれしかった。大好きな豊岡高校。いつになるか分からぬが今度は教員としてこの学校に戻り、恩返しできる日が来るよう日々努力していきたい。

(平22高卒)

読書に明け暮れた 豊高の三年間

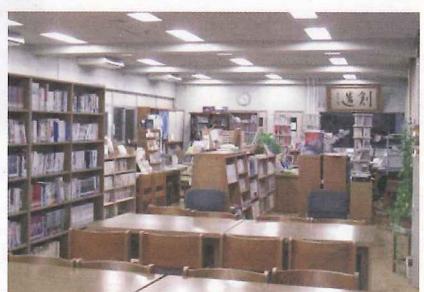


塞河江 慶一郎

自分にとつて豊高時代の学生生活の中で最も記憶に残つてゐる事は、図書館で借りた本の数が千冊を超えたことです。三年間ほぼ毎日、夏休み・冬休みの講座や部活で絵を描く合間に縫うように本を借りに行き、薄い本も厚い本も関係なしにひら二年が経ち、私は今、大学二年目の学生生活を満喫していいます。この原稿がいつ「出藍」に載るのかはわかりませんが、今の季節は秋です。秋といえれば読書の秋ということで豊高の図書館の思い出を書いてみたいと思います。

自分にとつて豊高時代の学生生活の中で最も記憶に残つてゐる事は、図書館で借りた本の数が千冊を超えたことです。三年間ほぼ毎日、夏休み・冬休みの講座や部活で絵を描く合間に縫うように本を借りに行き、薄い本も厚い本も関係なしにひら二年が経ち、私は今、大学二年目の学生生活を満喫していいます。この原稿がいつ「出藍」に載るのかはわかりませんが、今の季節は秋です。秋といえれば読書の秋ということで豊高の図書館の思い出を書いてみたいと思います。

(平24高卒)



思い出の図書館

本を読んでいたというような事はありませんでした。たが、それでも嬉しかったです。

たくさんの本を借りる内に当時の図書館の司書の先生ともよく話すようになり、図書委員でもなにに図書館の仕事を手伝う事もよくありました。

卒業後もそれは続いて、去年の夏休みや年度末などは通える限りの日数で作業の手伝いに行かせていただきました。作業の合間に本が読めるので、頼まれなくとも通つていきましたが。

自分にとつて豊高の図書館は三年間続けた美術部の活動と同じか、しかしたらそれ以上に大切な思い出です。これからもずっと良い図書館であつたのです。これからもずっと良い図書館であつたのです。



3位決定の瞬間(1番右が駒形君)

アーチェリー部
日韓交流強化事業に参加

八月二十二日から四日間、岐阜県高山市で韓国の選手を招いた強化行事が行われ、駒形竜成君が関東地区代表選手として参加しました。強化行事の中に団体戦と個人戦の試合が組んであり、駒形君は個人で六位、団体では関東地区チームとして三位に入賞しました。駒形君は「強化事業に参加でき、日本、韓国、トックニアーチャーと交流できただきました」と語っています。

自分にとつて豊高の図書館は三年間続けた美術部の活動と同じか、しかしたらそれ以上に大切な思い出です。これからもずっと良い図書館であつたのです。これからもずっと良い図書館であつたのです。

三豊会とは豊岡高校を卒業して三井銀行（現三井住友銀行）に就職した人達でつくった企業内の親睦団体（同窓会）です。三井銀行の「三」と豊岡高校の「豊」を頂き三豊会と命名して発足した経緯にあります。

そもそも銀行と学校の関係は、昭和十年当時学校の教頭（橋井先生）と銀行の当事者（堀井正雄氏）が同郷、同学の経緯から「君の学校から卒業生を就職させては如何」との趣旨の話し合いがござりでスタートしたとのことです。以来継続的に卒業生が四十数名就職しております。

代を超えて親睦を図り信頼と尊敬の念を育みながら運営されてまいりました。現在はほとんどの者が銀行を退いておりますが、いまでも例会を毎月開催し相互間のコミュニケーションを図りにぎやかに深交を図っております。ちなみに大先輩としては酒寄倫平氏（故人）、

（昭32高卒）

枝窪 義雄
「三豊会」

三豊会とは豊岡高校を卒業して三井銀行（現三井住友銀行）に就職した人達でつくった企業内の親睦団体（同窓会）です。三井銀行の「三」と豊岡高校の「豊」を頂き三豊会と命名して発足した経緯にあります。



永谷 晶久
バスケットボール部
顧問還暦祝い・同窓会

当日は、山田門下生十四人が参加しました。

先生は現在も高校の教員を続けられています。

勿論、バスケットボール部の顧問でもあります。

驚いたことに先生の指導を受けた門下生の何人かは先生と同じ教員の道を歩んでいました。また、長い人だと卒業以来先生と会つていなかつた者もあり、短い時間でしたが、

田代 清治
昭和五十二年卒業、三年七組の同窓会が、平成二十五年七月二十八日、所沢・徳樹庵で開催されました。

当日は、当時の担任の大館先生を囲み、和やかな雰囲気で懐かしさに浸りました。



「豊高の歴史」展に同窓会ブースを設置

九月七日に開催された豊高祭において、同窓会は、図書館展示内に初めてブースを設置し、会報の配布や会報購読者の申込受付等を行いました。



Tea
Time

業生が四十数名就職しております。

親睦会は、昭和二十年代から新人歓迎会や懇親旅行などの機会を設け年

平成二十五年五月十七日に、元・豊岡高校バスケットボール部顧問、山田隆次先生の還暦祝いと同窓会を所沢駅ステーションビル内『中国料理獅子』で行いました。

当日は、山田門下生十四人が参加しました。



サッカーと教職／二つの経験が得たもの／

埼玉県立所沢西高等学校教諭

布瀬 直次

一、高校時代

私が母校を卒業して早く三十八年が過ぎようとしています。改めて時が経つのは早いものだと感じます。当時の高校には名物と呼ばれる先生が多数勤務されており、学校全体が常に活気に溢れ、学習面においては厳しいご指導を頂きました。部活動も盛んで、陸上部やバスケットボール部、野球部などが強かつた事を憶えています。私はサッカー部に所属し、大好きなサッカーに明け暮れる毎日を送りました。サッカーに限らず、とにかく毎日が楽しくて、高校生活を満喫したものです。

この時にいつも考えていた、「サッカーをもつと学び、そして上手くなり組んでくれた生徒達からも大いに刺激を受け、

たい」という思いが、教職を目指す一番の動機となりました。

二、教育実習

高校卒業後は、教師を目指し進学して、大学四年時には教育実習でも豊富のお世話になりました。

高のお世話になりました。実習では、準備不足や指導力不足を思い知られ、「人を教育すること」の難しさを痛感したのです。その一方、生徒の将来に触れ、関わりを持つことの出来る教師という職業に無限の魅力を感じ、「絶対、教員になるんだ」という強い意志を固めました。私の拙い指導にも目を輝かせ、積極的に取り組んでくれた生徒達から

卒業生からの手紙



四、私とサッカー

小中高と続けたサッカーは、自分の専門種目となり、大学、そして教師になつてからも選手として励みました。選手引退後は、サッカーへの恩返しという思いから、本格的に審判活動に取り組みました。日本のサッカー界は、プロリーグの創設、日韓ワールドカップの共

その思いを強くして突き進むことができました。

三、教師としての足跡

大学を卒業した昭和五十五年の四月には所沢高校に赴任しました。その後、狭山高校、狭山清陵

高校、そして現任教諭である所沢西高校の四校を経験し、現在、教職生活は三十四年目を迎えました。長い教職生活ではあります、日々、生徒から新鮮な刺激を受け、教師と

いう職業に感謝する毎日を過ごしています。狭山星野和敏先生が学年主任を同僚となりました。恩師務める学年団で、学年経営を共に行い、卒業生を送り出しました。教師として、毎年の様に卒業生を送り出していますが、その運命の巡り合わせには実に感慨深いものがありました。

五、第二のサッカー人生

今は現役を引退してS級審判インストラクターとして後進の指導に当たっています。思い返せば、高校時代のたくさんの経験が、「何事にも積極的にチャレンジし、粘り強く最後まで決してあきらめることのない自分」を築いてくれたと感じます。その後に掴んだ国際主審としての活動は、自己の世界観を大きく広げる、貴重な経験を積ませてくれ

れました。海外の大会等での審判活動は、試合となる環境の中での任務となります。その中で笛を吹き、試合をコントロールすることは、責任重大な職務であり、プレッシャーも大きいものです。しかし、きちんと試合をコントロールし終えた後の充実感は、他では決して味わう事のできないものです。事前の準備、選手に最大能力を発揮させるコントロール、そして刻々と起きる事象への的確な対応など、その経験は学校教育の場面でも大いに役立つものでした。

実は、サッカーの国際主審でプロの審判員として活躍している東城穰氏も豊高のOBです。インストラクターという仕事をする機会を頂いています

が、このような繋がりができるのも伝統校であるが故と思います。

六、終わりに

私がこれまで勤務した高校では、豊高出身の多くの先輩や後輩と一緒になる事があり、その数の多さに伝統を感じてきました。現任校にも豊高の卒業生がおり、折に触れて高校生活の思い出話を花を咲かす事もあります。教職に就いた多くの卒業生が母校へと戻り、現代の多様なニーズに応えるコントロール、そして刻々と起きる事象への的確な対応など、その経験は学校教育の場面でも大いに役立つものでした。

私は、サッカーの国際主審でプロの審判員として活躍している東城穰氏も豊高のOBです。インストラクターという仕事をする機会を頂いています

(元サッカー国際主審
昭50高卒)

紹介します

私たちのOB会 〔第一回 吹奏楽団〕

豊岡吹奏楽団OBバンド シンフォニックウインズ豊岡 のご紹介

皆さまこんにちは。私は牧野亮

達「吹奏楽団」の卒業生は、豊高卒業と同時にOBバンドに加入します。

現役時代に青春の全てを捧げた一音を積み重ねて、皆で音楽を作る楽しさが忘れられないからです。

私自身は「吹奏楽団」

三十二期生ですが、OBバンドの最年少は四十八期なので、年齢層の幅が期待しつつ、私も微力ながら応援をしていきたいと強く思っています。

豊岡吹奏楽団OBバンド
シンフォニックウインズ豊岡
のご紹介

広いバンドは聞いたことがありません。

そんな私達も、過日盛大に挙行されました、「豊高九十周年記念式典」に出演させて頂きました。このような機会を与えて頂き厚く御礼申し上げます。

式典当日は、「吹奏樂

団」卒業生で航空自衛隊

中部航空音楽隊に所属されている、渡部哲哉さんが豊高校歌をモチーフに描き下ろしたシンボルマークという曲を演奏し、大変な反響を頂きました。

最近では、現役生の定期演奏会の会場係、賛助出演をメインに活動しておりますが、不定期ながら埼玉県吹奏楽コンクール一般の部に出場したり、入間市民会館にて、CDの自主制作なども行つて

おります。



上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成25年5月30日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

【III】 常任理事承認について (案)

粕谷康一郎 (かすや こういちろう) 平成元年度卒

【IV】 平成25年度事業計画 (案)

(1) 会議等

○常任理事会 平成25年6月21日

(2) 同窓会報の発行

第6号 平成25年12月10日予定

- ・目的：母校の活動情報提供と会員同士の情報交換等
- ・発行：年1回 同窓会入会式には新会員に配布予定
- ・内容：学校概況、卒業生紹介、他
- ・部数：3,000部予定

(3) 百周年記念誌の発行準備

- ・目的：百周年を目処に母校の歴史をまとめた。百周年記念誌発行委員会の発足の下準備をする。
- ・作業：編集方針の試案作成と資料の収集計画及び記念誌発行委員会の構成・予算等の検討

(4) 同窓会入会式説明 平成26年3月11日予定

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第66回卒業式出席 平成26年3月12日予定

(7) 賛助金の受付

- ・同窓会会報の発行に向けて、会員より同窓会会計への援助をお願いする。

・金額：一口 1,000円

・方法：郵貯銀行を開設した口座に振込

名義「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」毎年、決算の際に報告する。

【V】 平成25年度予算 (案)

1 普通預金の部

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会 費	915,000	3,000円×305人(25年度卒業生)
2 賛助金	100,000	1,000円×100口
3 繰入金	0	
4 雑 入	603	預金利子
5 繰越金	2,306,397	前年度から繰越
合 計	3,322,000	

(支出)

(単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会議費	250,000	常任理事会経費等
2 慶弔費	100,000	慶弔費
3 事務費	100,000	消耗品購入費
4 卒業生費	150,000	卒業証書ケース代
5 激励費	50,000	大会参加激励費等
6 講師謝礼費	50,000	講演講師謝礼

7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	0	
10 繰出金	200,000	特別会計へ繰出
11 予備費	2,422,000	
合 計	3,322,000	

上記のとおり提案いたします。

平成25年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

2 定額預金の部

(収入)

(単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰越金	18,024,635	前年度から繰越
2 積立金	0	
3 預金利子	4,365	預金利子
合 計	18,029,000	

(支出)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり提案いたします。

平成25年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

3 同窓会特別会計の部

(収入)

(単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰入金	200,000	普通預金、繰出金より
2 預金利子	70	預金利子
3 繰越金	95,130	前年度からの繰越
合 計	295,200	

(支出)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	30,000	会議雑費
2 事務費	250,000	第6号会報・封筒印刷代・送料
3 予備費	15,200	
合 計	295,200	

上記のとおり提案いたします。

平成25年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

【VI】 その他

- ・百周年記念事業準備委員会の発足について
百周年記念誌の発行や記念式典等の記念事業を
策定する百周年記念事業準備委員会を発足する。

平成25年度 常任理事会報告

過ぐる平成25年6月21日、「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」平成25年度常任理事会を開催し、無事終了致しましたのでその概要をお伝え致します。

議 事

【I】平成24年度事業並びに決算・監査報告

1 平成24年度 『事業報告』(案)

(1) 会議等

○常任理事会 平成24年6月13日

(2) 同窓会報の発行

第5号 平成25年3月10日発行

- 平成25年3月同窓会入会式に新会員に配布

- 各年度の同窓会係に600部郵送

- 在校生940人に配布

主な内容：思い出語り・卒業生からの手紙・学校概況（新校について、進路報告等）他

(3) 同窓会入会式説明 平成25年3月12日

- 同窓会の役割、会則等の説明

(4) 第65回卒業式 平成25年3月13日

卒業生305人に卒業証書ケース贈呈

(5) 関東・全国大会出場選手の激励

- 陸上インターハイ出場

- アーチェリー全国大会出場

(6) 同窓会会報賛助金の受付

【II】平成24年度 『決算報告及び監査報告』

(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) (案)

1 普通預金の部

収入済額	支出済額	残額(翌年度へ繰越)
------	------	------------

2,752,537円 - 446,140円 = 2,306,397円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	915,000	3,000円×305人(25年3月卒業生)
2 賛助金	91,000	1,000円×91口
3 繰入金	0	
4 雑 入	236	預金利子
5 繰越金	1,746,301	前年度から繰越
合 計	2,752,537	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	109,650	常任理事会経費等
2 慶弔費	0	慶弔費
3 事務費	19,720	郵券購入・ポスター製作費
4 卒業生費	96,770	卒業証書ケース代
5 激励費	20,000	インターハイ・全国大会出場
6 講師謝礼費	0	

7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	0	
10 繰出金	200,000	特別会計へ繰出
11 予備費	0	
合 計	446,140	

上記のとおり平成23年度の決算報告をいたします。

平成25年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成25年5月30日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

2 定額預金の部

収入済額	支出済額	残額(翌年度へ繰越)
------	------	------------

18,024,635円 - 0円 = 18,024,635円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	18,019,642	前年度から繰越
2 積立金	0	
3 預金利子	4,993	預金利子
合 計	18,024,635	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり平成23年度の決算報告をいたします。

平成25年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成25年5月30日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

3 同窓会特別会計の部

収入済額	支出済額	残額(翌年度へ繰越)
------	------	------------

292,480円 - 197,350円 = 95,130円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰入金	200,000	普通預金繰出金より
2 預金利子	41	預金利子
3 繰越金	92,439	前年度からの繰越
合 計	292,480	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	10,000	会議雑費
2 事務費	187,350	第5号会報・封筒印刷代・送料
3 予備費	0	
合 計	197,350	

上記のとおり平成23年度の決算報告をいたします。

平成25年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

事務局だより

お願いします
百周年へのご協力を!

副会長 仲川幸成



日本
中が二

〇一〇年

の東京オリンピック招致の決定に湧いています。皆様もご承知の通り、奇しくも同年に私たちの母校豊岡高校も創立百周年を迎えることになります。そして創立百周年を前に、母校は今大きく変貌しようとしています。

卷頭・木下同窓会長の「」

七年後に学校創立百周年を迎えるに当たり、何らかの記念事業を考えたい。

挨拶にもあるように、豊岡高校は本年四月から「進学重視型の単位制高校」に変わりました。同窓生の皆さん方にも関心を持つて見守つて欲しいものです。

さて、去る平成二十二年

十一月、母校の「創立九十周年記念式典」が学校主催で、同祝賀会を私たち同窓会主催で厳粛・盛大に開催されました。後日、式典に

思っています。そこで、本会会員の皆様にお願いがあります。今後の諸作業を考えた時、式典当日を含め、「百周年記念誌」の編纂等に係る在学当時の写真や印刷物の提供など、百周年に向けた諸準備への、皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

次号は、皆様の投稿原稿を中心に、来年九月一日の発行を予定しています。つきましては、平成二十六年三月末頃を目途に、「在学時代の思い出」や「近況報告」、「文芸作品」、「写真やものづくり紹介等の趣味作品」、「同窓会・クラス会情報」、「その他」一般投稿を募集しております。不明の点は、同窓会事務局・編集委員会までお問い合わせ下さい。

◎次号の予告と 原稿のお願い

編輯後記

▼「出藍」の発行月が三月から十一月に早まった。来年度以降はさらに九月に早める予定である。会員の皆様にはご理解・ご協力をお願いしたい。

▼百周年が近づいてきた。今後、会員間の連絡調整役として、理事の責任がより重くなる事を考える

と、身の引き締まる思いである。(木口)

▼先日開催が決定した東京オリンピック。二〇二〇年と言えば、豊岡高校の百周年と重なる。七年後の世界と豊高に思いをめぐらせてみる。

発行所 〒三五八一〇〇〇三 入間市豊岡一一一五一一
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会報編集委員会
TEL 〇四一一九六二一五二六 FAX 〇四一一九六〇一〇五三
メールアドレス toyokoudousoukai@toyooka-hs.speced.jp

発行人 木下足立 博宏
編集委員会 大野清恵 黒田哲 高原誠子 野口晴康 平田光洋
木口勝巳 小林晶久 橋本浩

人会員 木口勝利 永谷晶久 橋本浩
行集委員会 大野清恵 黒田哲 高原誠子 野口晴康 平田光洋

磨いていきたい。(平)